

(3) 生きがいを感じる時について

生きがい（生きていることの喜びや楽しみを実感すること）を感じるのはどのような時かを聞いたところ、日本、ドイツ、スウェーデンは「子供や孫など家族との団らんの時」、アメリカ

では「友人や知人と雑談している時」と回答した割合がそれぞれ最も高かった。

前回調査と比較すると、ドイツでは「友人や知人と雑談している時」、「収入があった時」と回答した割合が増加している（図1-3-3）。

図1-3-3 生きがいを感じる時

	日本		アメリカ		ドイツ		スウェーデン	
	令和7年	令和2年	令和7年	令和2年	令和7年	令和2年	令和7年	令和2年
全体 (n)	1,267	1,172	843	817	766	775	955	1,226
仕事に打ち込んでいる時	17.2	19.6	26.8	44.3	15.4	13.4	9.5	15.3
勉強や教養などに取り組んでいる時	11.7	11.5	38.2	46.3	11.2	13.8	3.1	2.8
趣味やスポーツに熱中している時	41.6	51.1	60.5	73.2	49.5	55.4	44.0	50.1
夫婦団らんの時	28.9	31.5	46.5	49.9	42.2	43.6	54.9	59.4
子供や孫など家族との団らんの時	53.6	55.8	68.1	77.2	72.6	71.9	80.4	77.7
友人や知人と食事（第9回）、雑談している時（第10回）	41.8	45.8	73.9	80.8	68.8	62.1	77.8	66.1
テレビを見たり、ラジオを聞いている時	42.3	49.1	48.8	59.6	45.6	46.2	48.7	62.0
社会奉仕や地域活動をしている時	8.0	8.7	29.9	52.8	17.4	15.5	45.8	32.3
旅行に行っている時	31.7	33.9	51.4	60.0	50.1	49.5	40.4	46.6
他人から感謝された時	21.2	27.5	61.6	81.9	45.3	43.0	56.2	60.8
収入があった時	19.0	20.6	20.2	39.4	27.9	22.1	13.8	17.8
おいしい物を食べている時	47.6	52.4	59.0	76.0	64.5	60.3	62.2	60.7
若い世代と交流している時	9.6	9.2	34.0	68.9	23.4	24.9	32.3	33.9
おしゃれをする時	14.6	16.6	23.3	47.6	28.9	25.9	17.0	25.7
犬や猫などのペットと過ごす時	11.6	13.8	38.1	48.3	18.0	15.7	18.3	20.8
その他	2.0	2.4	2.4	6.1	2.3	2.1	3.8	3.9
わからない	4.5	2.5	1.4	1.3	0.1	1.3	1.8	1.8
不明・無回答	3.2	1.9	0.4	-	-	0.4	-	1.6

資料：内閣府「高齢社会対策総合調査（高齢者の生活と意識に関する国際比較調査）」

（注1）「趣味やスポーツに熱中している時」の前回調査における数値は「趣味に熱中している時」と「スポーツに熱中している時」の選択肢を合算している。

（注2）今回調査「友人や知人と雑談している時」と前回調査「友人や知人と食事、雑談している時」の選択肢で比較している。

（注3）複数回答

2 就労について

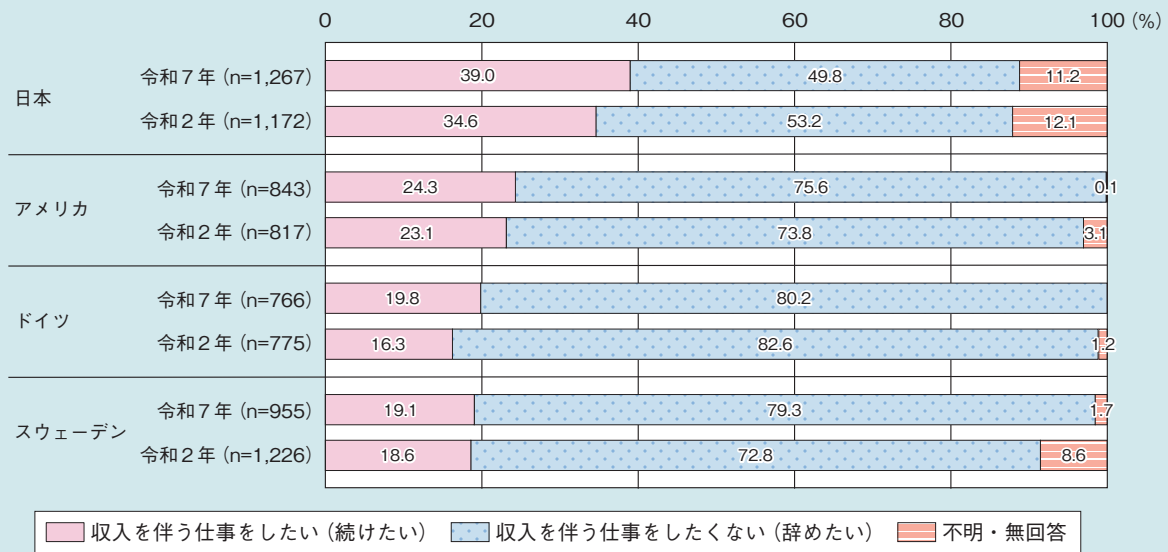
(1) 収入を伴う仕事をしたいと思うか

今後収入を伴う仕事をしたいと思うか（今後も収入を伴う仕事を続けたいと思うか）を聞いたところ、日本を除く国の7割以上が「収入を伴う仕事をしたくない（辞めたい）」と回答している。

一方、「収入を伴う仕事をしたい（続けたい）」と回答した割合は日本39.0%、アメリカ24.3%、ドイツ19.8%、スウェーデン19.1%となっている。

前回調査と比較すると、いずれの国においても「収入を伴う仕事をしたい（続けたい）」と回答した割合が横ばい又は増加している（図1-3-4）。

図1-3-4 収入を伴う仕事をしたい（続けたい）と思うか



資料：内閣府「高齢社会対策総合調査（高齢者の生活と意識に関する国際比較調査）」

(2) 収入を伴う仕事をしたい主な理由

「収入を伴う仕事をしたい（続けたい）」と回答した主な理由については、日本、アメリカ、ドイツは「収入が欲しいから」、スウェーデンは「自分の知識・能力を生かせるから」と回答した割合がそれぞれ最も高くなっている。次に

高い回答割合となっているものを見ると、日本とアメリカは「働くのは体によいから、老化を防ぐから」、ドイツとスウェーデンは「仕事そのものが面白いから、自分の活力になるから」となっている（図1-3-5）。

図1-3-5 収入を伴う仕事をしたい主な理由

	日本		アメリカ		ドイツ		スウェーデン	
	令和7年	令和2年	令和7年	令和2年	令和7年	令和2年	令和7年	令和2年
全体 (n)	494	406	205	189	152	126	182	228
収入がほしいから	48.2	45.3	34.6	28.0	37.5	24.6	16.5	16.2
仕事そのものが面白いから、自分の活力になるから	12.6	17.5	24.4	35.4	35.5	54.8	26.9	41.7
仕事を通じて友人や仲間を得ることができるから	6.1	7.1	1.0	2.1	1.3	0.8	0.5	0.9
働くのは体によいから、老化を防ぐから	25.1	26.8	25.9	25.9	12.5	17.5	16.5	22.4
自分の知識・能力を生かせるから（第10回）	5.7	-	9.8	-	9.9	-	37.9	-
その他	2.4	2.0	3.9	7.9	3.3	2.4	1.6	3.1
不明・無回答	-	1.2	0.5	0.5	-	-	-	15.8

資料：内閣府「高齢社会対策総合調査（高齢者の生活と意識に関する国際比較調査）」

（注1）「自分の知識・能力を生かせるから」は第10回のみ調査。

（注2）収入を伴う仕事をしたい（続けたい）と回答した人に対して質問。